愛するパートナーに癒しのお返しを

ドッグマッサージ Dog Massage RCB＋（アールシービープラス）
阿久津 久美子さん

八千代市

DOG_MASSAGE_RCBPLUS

阿久津久美子さん（44）が自宅でサロン形式のドッグマッサージを始めたのは今年3月。

きっかけは以前飼っていた犬達との別れだった。「3頭飼っていたが、それぞれ脾臓の癌、慢性腎不全、脳腫瘍で亡くなった」。犬が高齢だったこともあって、獣医さんには「どうしようもないですね」と言われた。「確かにどうしようもないんですが、もっと何か自分に出来ることがあったんじゃないかと思って」阿久津さんはドッグマッサージの学校の門を叩き、資格を取得した。サロン名のRCBは飼っていた犬の名前の頭文字。＋（プラス）は全ての犬達の意味。

「人と同じで、犬も若いときは表に出なくても、年齢を重ねると不調が病気としてあらわれてくる。未病の段階で気付いてケアしてあげるのにマッサージは役立つ。症状を軽くしたり、遅らせることは出来ると思うんです」と話す。

近所のドッグカフェでもマッサージをしているが、そこで施術したお客さんが、その後も継続して船橋や市原からも通ってくる。何回か施術することで、表面に出ている不調の奥にある問題を探り、併せて生活や食事の改善をしていくことで、良くなっていくそう。

犬種によっても不調の特徴は違い、ミニチュアダックスは腰のヘルニア、フレンチブルやトイプードルは膝、大型犬は股関節に不調が出ることが多いそう。「マッサージをしてみると、この子、すごく頑張っていたんだな、と感じることがある」。

動物は野生の本能で弱みを見せることがなく、多少痛くても我慢してしまうのだそう。「犬は私たちを癒してくれる存在、その癒しのお返しをしてあげたいですね。こちらが愛情を注げば、犬は必ず応えてくれます」と阿久津さん。これからも多くの犬たちに癒しを与えてくれるに違いない。

▽問☎090・9363・0635。

▼八千代市萱田2230-6。

ふれあいあごら

支援の必要な子どもたちと子育て世代へ

―時代が求める子ども食堂とは―

地域の「子ども食堂」の取り組みをご存じと思いますが、千葉県内では、安価又は無料で食事の提供をしたり、多世代交流の場、居場所づくりの場など、様々な目的のもと、民間主体で実施されています。県が公表している「子ども食堂」は、2022年6月現在、県内に31団体あります。

主な都市は柏市、浦安市、鎌ケ谷市、我孫子市、習志野市、千葉市、佐倉市、木更津市、市原市、君津市、茂原市、富津市など。また、ふなばし子ども食堂ネットワークに約20団体、市川こども食堂ネットワークに8団体が加盟しており、実際はもっと多くの団体が活動していると思われます。

6月の土曜日、市川市京成鬼越駅近くで開催の「きずなレストラン」が主催する子育て講座を見学する機会がありました。こども食堂の開催時間内に、「イライラしない子育て講座」を行っており、あちこちから、バギーに乳幼児を乗せて、新米パパママが集まって来ました。

なんと参加費無料、託児あり。皆、SNSで知った方ばかり。きずなレストランでは、食の提供に限らず、親子の絆を大切に育みたいという願いから、子育てサロンや子育て講座を定期的に開催しています。（問☎0477・335・7744柏木さん）。食を提供するだけでなく、講座を開催するなど、子育て世代のニーズにあった、まさに現代版、こども食堂なのです。

ふれあい毎日では読者の皆さまの「あごら」への投稿をお待ちしています。

市川市の取り組み

市川市では6月定例議会において初めて、こども食堂運営団体への支援として、「子どもの居場所づくり支援事業補助金」300万円を計上。これは、市内で食事とともに学習や遊び場の提供をする「子ども食堂」に対し、その運営費の一部を補助するというもの。

その目的は、地域の多様な人々と子どもの交流の場を創出するとともに、支援が必要な子どもを発見し、相談支援につなげる地域の見守り体制を強化するもので、継続的な運営をしていることなどの要件を満たせば、開催一回につき一万円程度、その他備品の購入や講習会受講費用など、1団体年間の補助上限を42万円と見込んでいます。今夏から申請受付を開始する予定です。

地域のみんなで子どもの育ちを応援！

千葉県は本年4月、ライオンズクラブ国際協会333C地区と、「子ども食堂等子どもの居場所の支援に係る協働に関する協定」を締結。ライオンズクラブが2020年から行っている「ライオンズのサンタさん」事業がきっかけとなったもの。

子ども食堂をはじめとする、子どもの居場所づくりを支援することを目的としており、それぞれの役割を遂行するとともに、相互に連携し協力を図っています。その後、「千葉県ライオンズクラブ子ども食堂支援基金」が開設され現在、ライオンズクラブでは、広く企業の社会貢献活動として、一口二万円の寄付金を募集中。（寄付申請フォームは、千葉県ライオンズクラブHP）。

これらの地域での活動が、多くの子どもを救うことになるよう、願ってやみません。

（市川市議　石原みさ子）

子どもも大人も、誰でも気軽に楽しめるコンサート 0歳から入場OK!

主催（公財）千葉県文化振興財団

各ペア2組ご招待：弊紙HP『ふれあいプレゼント』より応募

©ヒダキトモコ

■うみのひファミリーコンサート　邦楽四重奏団 in 佐倉

気鋭の若手、邦楽四重奏団による0歳から入場可能の「子どもも大人も、誰でも気軽に楽しめる」コンサート。琉球民謡による組曲／八千代獅子／甲烏賊ほか。

▼日時：7月18日（月・祝）開演14時。

▼会場：佐倉市民音楽ホール。

▼チケット：全席指定一般／2000円、U-30／1000円、高校生以下／500円。3歳以下：ひざ上無料（お席が必要な場合は有料）。

▽問☎043・222・0201（千葉県文化会館）。

■クァルテット・エクセルシオ　四街道公演

日本でもトップクラスの弦楽重奏団（クァルテット・エクセルシオ）が弦楽四重奏のコンサート。

愛の挨拶／アイネ・クライネ・ナハトムジーク／四季「夏」／月の砂漠／証城寺の狸囃子／浜辺の歌ほか。

▼日時：8月21日（日）開演14時。

▼会場：四街道市文化センター。

▼チケット：全席指定一般／2000円、U-30／1000円、高校生以下／500円。3歳以下：ひざ上無料。（お席が必要な場合は有料）。

▽問☎043・222・0201（千葉県文化会館）。

かんばれ柏レイソル

サヴィオの活躍で、前半4位！

©KASHIWA REYSOL

リーグ戦前半の17試合を終えて（6月18日時点）、4位と好位置につけているレイソル。昨季の主力選手が移籍して低く見られた前評判を大きく覆す躍進を見せています。

その原動力は、ブラジル人の司令塔、マテウス・サヴィオ選手です。2019年、当時21歳の若手有望株としてレイソルに加入。すばらしいテクニックを見せる一方で、不運な負傷に何度も見舞われ、悔しい日本での生活が続いていました。

しかしレイソルでの4年目となった今季は、まさに大車輪の活躍。味方を生かすパス、個人で突破できるドリブル、そして試合を決めるゴールまで。5月29日にホーム日立台で決めた、ドリブルからの左足シュートは、Jリーグの月間ベストゴールに見事選ばれました。

「でも大切なのは自分のゴールより、チームの勝利。背番号10よりも、レイソルのエンブレムのために私は戦っています」。来たる7月16日土曜はホーム日立台で札幌戦、ぜひサヴィオの妙技に注目ください！

（柏レイソル広報）

柏レイソル公式HP https://www.reysol.co.jp/

矢路川結子の おうちでごはん ココカラエガオ食堂

「ココロ」と「カラダ」が笑顔になる

Yajikko KITCHEN

ココカラエガオ研究所

かぼちゃの豆乳スープ

神奈川県藤沢市鵠沼の生産者の方から、貴重な伝統野菜「鵠沼かぼちゃ」をいただいた。日本かぼちゃ特有のきれいな黄色で、優しい甘さと、上品でねっとりとした食感が特徴だ。栄養価が高いかぼちゃを使用した豆乳スープは、身体がだるくなる今の季節にピッタリです。

材料

かぼちゃ	150g	○甘糀	80g
ミックスビーンズ	100g	○醤油	大さじ1
玉ねぎ	1/2個	○味噌	大さじ2
しいたけ	4個	塩コショウ	適量
豆乳	200ml		
出汁汁	300ml		

作り方

1. かぼちゃを一口大に切る。玉ねぎ、椎茸はスライスする。
2. 鍋に1の材料、ミックスビーンズと出し汁を入れ、かぼちゃが柔らかくなるまで煮る。
3. 材料が煮えたら、鍋に豆乳と○の材料を入れ、混ぜ合わせて塩コショウで味を整え完成。

専門講師が同行する学びのカルチャーツアー「風来人」

いつまでも残しておきたい日本の森

～森を守ることは人類を救うこと～

日帰り　『奥多摩 柳沢峠の自然観察』　コースNo.【F006X-53】

同行講師／福嶋司氏（東京農工大学名誉教授）

ツアーのポイント！

▷奥多摩の自然森林のタイプを観察し、その性質と分布を知る。

▷奥多摩のブナ林の特徴とブナ林へのシカの食害の状況を学ぶ。

福嶋 司 氏

出発日　7月23日(土)発　日帰り

旅行代金（おひとり）　15,500円（税込）　※バス1名2座席利用 5,000円増し

◆コース／新宿駅8時30分発＝〈貸切バス〉＝柳沢峠（柳沢口）…〈徒歩〉…花ノ木尾根…イモノキ尾根…多摩川源流部の眺望…梅ノ木尾根…ブナの巨木…柳沢口＝新宿17時頃着　◆昼食（お弁当）付き　◆貸切バス：東栄観光バス　◆歩程約6km　◆添乗員同行　◆最少催行人員：15名

☎03-6265-6966　◆申し込み／毎日新聞旅行〈ふれあい〉係（10時～16時、土日祝休み）後援・東葛毎日新聞社